

平成 28 年 7 月

東京都建設局河川部
東京都南多摩東部建設事務所

境川金森調節池事業説明会（第 2 回）の議事要旨

東京都は、町田市金森 6 丁目の西田スポーツ広場の地下に整備予定の「境川金森調節池」に関して、昨年度に引き続き、地域の皆様を対象とした説明会を開催させていただきました。説明会当日の議事要旨を作成いたしましたのでご覧ください。

1 開催概要

【相模原市側】

日時	平成 28 年 5 月 22 日（日曜日）午後 1 時 00 分～午後 3 時 35 分
場所	相模原市中和田自治会館
参加者数	50 名

【町田市側】

日時	平成 28 年 5 月 22 日（日曜日）午後 7 時 00 分～午後 9 時 35 分
場所	町田市南市民センター内ホール
参加者数	60 名

2 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨） ※上記 2 回の説明会を取りまとめています。

(1) 事業計画について

ご質問・ご意見	都の回答
西田スポーツ広場が調節池の適地である理由、その決定経緯は。	目標整備水準をレベルアップする方針において、境川の東京都管理区間で約 76 万㎡の調節池を適切な場所に分散して配置することが必要となります。また、効率的に整備するため、できる限り公共用地を使って整備したいと考えており、今回町田市の協力により西田スポーツ広場を使わせていただき、調節池を整備することになりました。
工事実施は決定か。	東京都としては調節池を作ることで決定しています。目標整備水準を時間 50 ミリ降雨から 65 ミリ降雨にレベルアップする方針のもと、境川を含め 9 つの対策強化流域を選定し、今年度、境川金森調節池を含め都内で 5 つの調節池整備に着手する予定となっています。
下流の県の整備はどうなっているのか。	神奈川県も河川整備を順次進めています。県の整備が完了するまでには、多大な時間がかかります。このため、東京都からも神奈川県に下流区間の整備促進を要望しています。また、今後も県と情報交換を行い、下流の県区間整備が進むにつれ、都区間の安全度も段階的に上がるよう整備していきたいと考えています。

(2) 工事全般について

ご質問・ご意見	都の回答
工事車両の通行ルートは。	大型車両が通行できるルートであり、かつ特定の地域に集中してご負担をお掛けしないよう複数のルートを選定することを基本とし、町田市側と相模原市側の 2 つのルートを利用することを考えています。他のルートは大型車両が通れない、通行時に対向車線にはみ出す等により使用は困難と考えています。なお、ルート上は大型車両がすれ違わないよう相互通行を抑制します。今後、工事説明会でルートの具体的な通行方向等詳しく説明させていただきます。
土砂の搬出先は決まっているのか。	まだ決まっています。搬出先が決まったら工事説明会等でご説明します。
都道や周辺道路等での待機車両対策は。	無線機の活用、誘導による車両管理、工事ヤード内に待機場所を確保する等により公道に車両が連なることがないようにします。また、工業者が別の待機場所を確保すれば、そちらでも対応します。
振動等による家屋被害に対して補償はどうなっているのか。	工事前後に家屋調査を実施し、工事が原因である被害が確認されれば補償を行います。通常は工事現場周辺が家屋調査対象となりますが、工事車両通行ルート沿道を含め調査範囲について検討し、今後、工事説明会で説明します。
通学路の安全対策についてはどう考えているのか。	事前に周辺の学校等にヒアリングをさせていただき、最も遅い始業時間が 9:00 であることを確認しました。そのため、大型車両の現場出入り時間を 9:00 以降とすることとしました。なお、下校時間は学校や学年等によりばらつきがあり、一様でないことを確認しています。車両通行を抑制することは工期が延びる等の影響があるため、しっかり安全管理を行うことで対応していきたいと考えています。今後、学校等の意見も聞きながら、交通誘導員の配置等安全対策を検討します。
本体工事はどこから行うのか。	工事はまず、工事用仮橋、人や自転車等が渡るための仮橋を設置するとともに、スポーツ広場の周り、相模原市側の旧河川敷（現広場）に騒音対策の 1 つとして防音パネルを設置します。
今年度実施予定の準備工事は具体的に何を行うのか。	前回事業説明会（昨年 9 月開催）でご意見のあった車両通行ルート上の騒音・振動対策として、痛んだ道路舗装を直す工事や支障物の移設などを行う予定です。具体的な範囲や方法は道路管理者である市と協議中です。
工事は土日、休日も行われるのか。	工事発注に際しては、土日作業を行わない事で工程計画を組んでいます。ただし、土日を含めて連続作業が必要となる可能性はあります。その際は、工事連絡協議会（仮称）や看板等により皆様にお知らせし、ご理解をいただきながら作業を行うことを考えています。
工事期間に上部のグラウンド整備も含まれているのか。	今回お示しした工事スケジュールは、東京都が施工する調節池工事のみのスケジュールとなります。上部の広場整備は今回のスケジュールには含まれておりません。

（裏面もご確認ください）

(3) その他

ご質問・ご意見	都の回答
スポーツ広場の代替地は確保できているのか。	現時点では、西田スポーツ広場のような空地はありません。今後のスポーツなどの広場利用については、市とともに利用者の方々と話ししながら、対応を進めていきたいと考えています。
調節池のようなハード対策では、減災への対応は限界だと聞いた。ソフト対策など治水対策について、もう少しマクロな視点で検討が必要ではないか。調節池事業を行うのは、時期尚早だと思う。	大雨はどこで降ってもおかしくないため、治水安全度を上げることは必要だと考えています。ソフト対策で人命を守ることは出来ますが、ハード対策を行わないと、床上浸水など、みなさまがお持ちの財産に影響を及ぼすこととなり、被害に合われた方は非常に不便な状況となってしまいます。このため、水害対策はハード対策、ソフト対策の両方を行っていきます。調節池事業は必要だと考えています。
工事連絡協議会（仮称）とはどういうものか。工事着手前に設置してほしい。	協議会（仮称）については、東京都で案を作り、市、町内会、学校関係者を含めて開催したいと考えています。具体的な内容についてはこれから検討します。協議会（仮称）では工事現場からの情報提供の他、地域の皆様からの情報やご要望等をお伺いする場と考えています。工事着手前の設置についても今後、検討します。
説明会の案内状が近隣の住民にしか配られていないのはどうしてか。	直接工事の影響を受ける工事用車両の通行ルート周辺エリアとして、平成27年9月に実施した事業説明会と同様の配布範囲としました（町田市側約1400世帯、相模原市側約600世帯）。今後、町内会等とも相談の上、配布範囲等を検討していきます。
説明会議事を見られるようにしてほしい。	前回説明会の議事要旨も今回の説明会案内に同封させていただきました。今回の議事録についても同様の対応を考えています。

※本議事録要旨を含め、説明会時配布資料等は、東京都南多摩東部建設事務所ホームページに掲載しています。(URL : <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/nantou/kouji/kasen-seibi.html>)

※平成28年秋以降、準備工事（道路補修工事を想定）の着手前に改めて説明会を実施いたします。また、平成29年夏頃、調節池本体工事の着手前にも説明会を実施いたします。

平成28年5月22日 事業説明会配布資料（抜粋）

5. 境川金森調節池の概要

【調節池全体計画平面図】

越流堤(上流側)120m
越流堤(下流側)75m
調節池
管理棟

施設概要

- ・貯留量: 約15万m³
(25mプールで、約420杯)
内訳 一次貯留約3万m³
二次貯留約12万m³
- ・形式: 地下式
(鉄筋コンクリート造、管理棟等一部は地上設置)
- ・施設規模: 長さ約190m、幅約90m
深さ約20m
- ・付属設備: 排水ポンプ、排気設備他
- ・管理棟: 地上2階(高さ=約11m)
地下1階(深さ=約7m)
建築面積600m²

<調節池断面図(イメージ)>

越流堤
一次貯留槽
二次貯留槽
境川

※イメージであり今後変更する可能性があります。

8. 工事スケジュール(予定)

工 期	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
準備工事 (道路補修・支障物移設)									
本体工事	調節池 (仮設・本體工)								
	越流堤								
管理棟設置工事									
機械設備工事 電気設備工事									
スポーツ広場利用 が可能な期間		平成29年 夏ごろまで							
金山橋が 通行止めになる期間		平成29年秋ごろから平成35年夏ごろまで							
主な工事車両 通行予定			10tダンプトラック 最大約100台/日			コンクリートミキサー車 最大約80台/日			

<問い合わせ先>

○調節池の計画等に関すること 東京都建設局河川部計画課 TEL 03-5320-5415

○調節池の工事等に関すること 東京都南多摩東部建設事務所工事課 TEL 042-720-8644

※本資料は、第二回事業説明会で配布した資料です。

(5月22日町田市南市民センター内ホール、相模原市中和田自治会館で開催、各会場同じ資料を配布)

境川金森調節池について

平成 28年 5月22日(日)

東京都建設局河川部
東京都南多摩東部建設事務所

<問い合わせ先>

○調節池の計画等に関すること
東京都建設局河川部計画課

TEL 03-5320-5415

○調節池の工事等に関すること
東京都南多摩東部建設事務所工事課

TEL 042-720-8644

1.境川の整備状況

＜神奈川県管理区間＞
護岸整備や遊水地の整備には完了までに、長期間を要する。

④相鉄線下流部護岸整備(実施中)

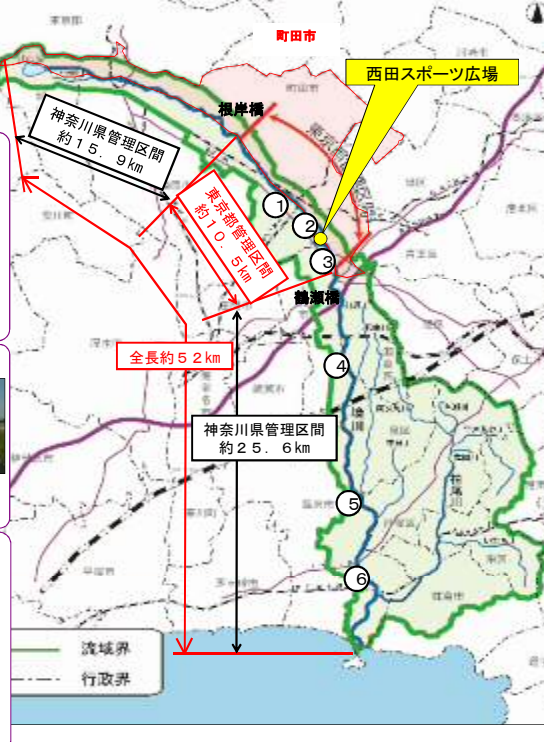


⑤境川遊水地(整備済)



俣野地区 15万m³
下飯田地区 57万m³
今田地区 32万m³
計104万m³

⑥藤沢橋付近狭さく部(未整備)



＜東京都管理区間＞
・護岸整備はほぼ完了。
(護岸整備率98%(H27年度末))
・下流県管理区間の能力に合わせ、河底を掘り下げず調整。
・旧河川敷を利用した遊水池なども整備。

①護岸整備状況(幸延寺橋付近)



②③遊水池の整備状況

＜鶴金橋上流付近(約15,500m³)＞

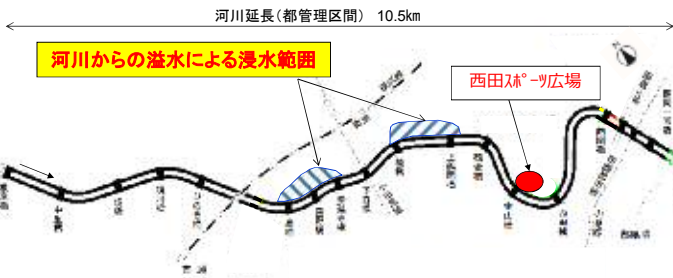


＜鶴間1号橋付近(約7,500m³)＞



2.近年の境川の状況(1)

○平成20年8月末豪雨



＜左図の主な浸水状況＞
浸水面積 4.59ha
床下浸水 32件
床上浸水 14件

＜各市の被害総額＞
町田市 約5億2千万円
相模原市 約1億7千万円

＜森野橋上流＞

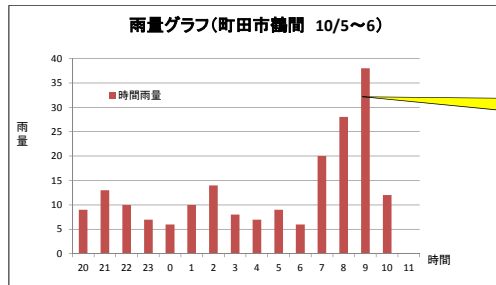


＜上鶴間橋下流＞



3.近年の境川の状況(2)

○平成26年10月豪雨



1時間38ミリ
警戒水位を超過

<島橋上流>



<鶴間橋下流>



4.目標整備水準のレベルアップと整備の考え方

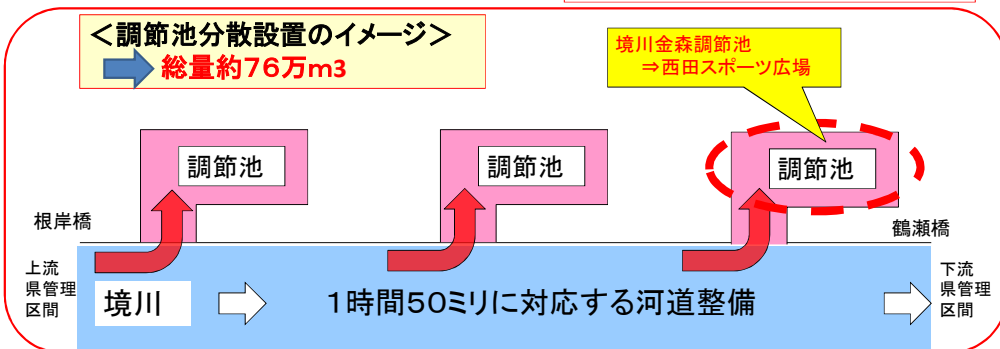
これまでの目標整備水準
1時間50ミリ降雨

新たな目標整備水準
1時間65ミリ降雨

中小河川における都の整備方針策定(H24.11)
東京都豪雨対策基本方針改訂(H26.6)
境川水系河川整備計画策定(H27.4)

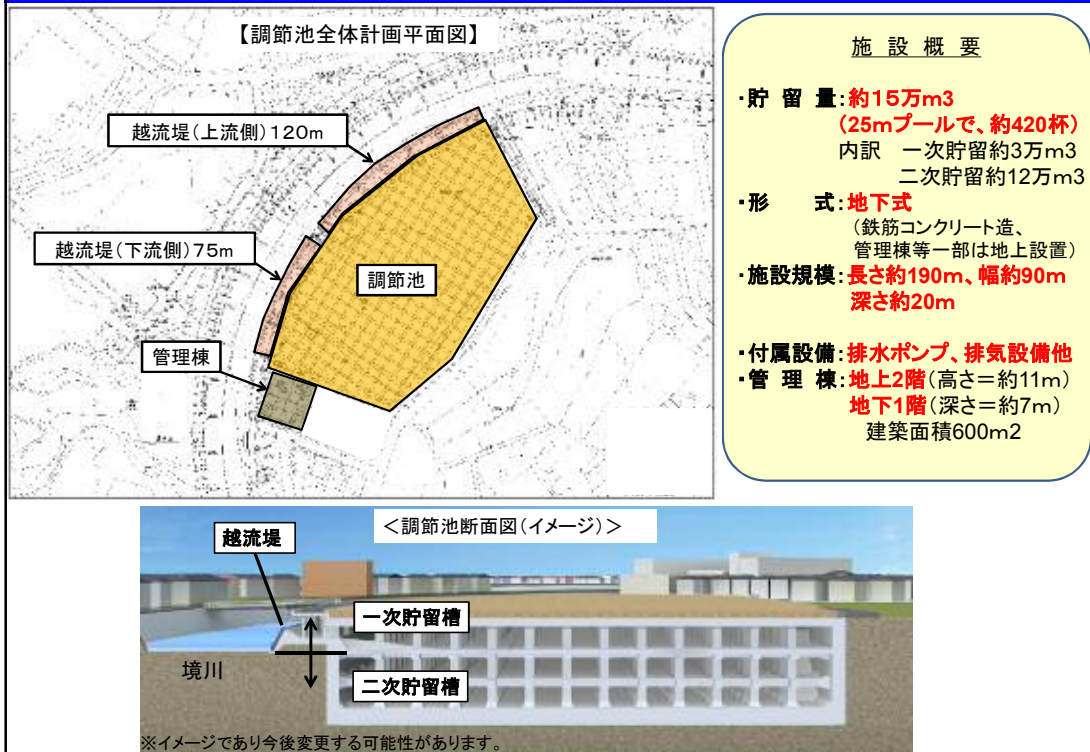
<調節池分散設置のイメージ>
総量約76万m3

境川金森調節池
⇒西田スポーツ広場



- 1時間50ミリまでの降雨は、河道で対応。
- 1時間50ミリを超える降雨は、川沿いに分散設置する「調節池」にためることで、1時間65ミリに対応。
- 調節池は公園など公共空間を活用し、効率的、効果的に整備

5. 境川金森調節池の概要



6. 施工方法の変更について

【当初】

○メリット

- ・治水効果の早期発現が可能
- ・広場の部分的継続利用が可能

○デメリット

- ・周辺環境への影響期間は長期化
(対応事項)
搬出入ルートの分散化や騒音
振動対策などで負担を軽減

分割施工方式を選択

【変更】

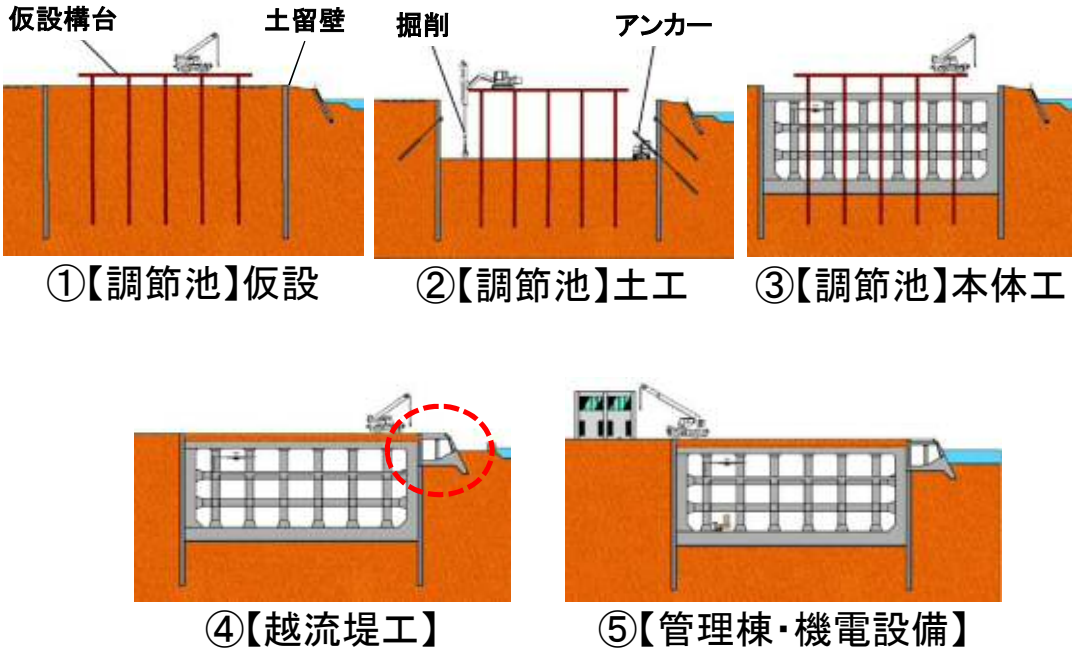
- ・**搬出入ルートの分散化**のためには
工事に伴う周辺環境への**影響**
期間の**短縮が不可欠**と判断

より工期を短縮できる
一括施工方式に変更

広場利用は市と協働
で対応を検討

7.工事の主な手順

工事の主な手順は、以下の①～⑤工程となります。



8.工事スケジュール(予定)

工 期		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	
準備工事 (道路補修・支障物移設)											
本体工事	調節池 (仮設・本体工)		■								
	越流堤							■	■		
管理棟設置工事								■	■		
機械設備工事 電気設備工事									■	■	
スポーツ広場利用 が可能な期間			平成29年 夏ごろまで								
金山橋が 通行止めになる期間			平成29年秋ごろから平成35年夏ごろまで								
主な工事車両 通行予定				10tダンプトラック 最大約100台/日			コンクリートミキサー車 最大約80台/日				

9.工事車両の通行ルートを選定

＜基本的な考え方＞

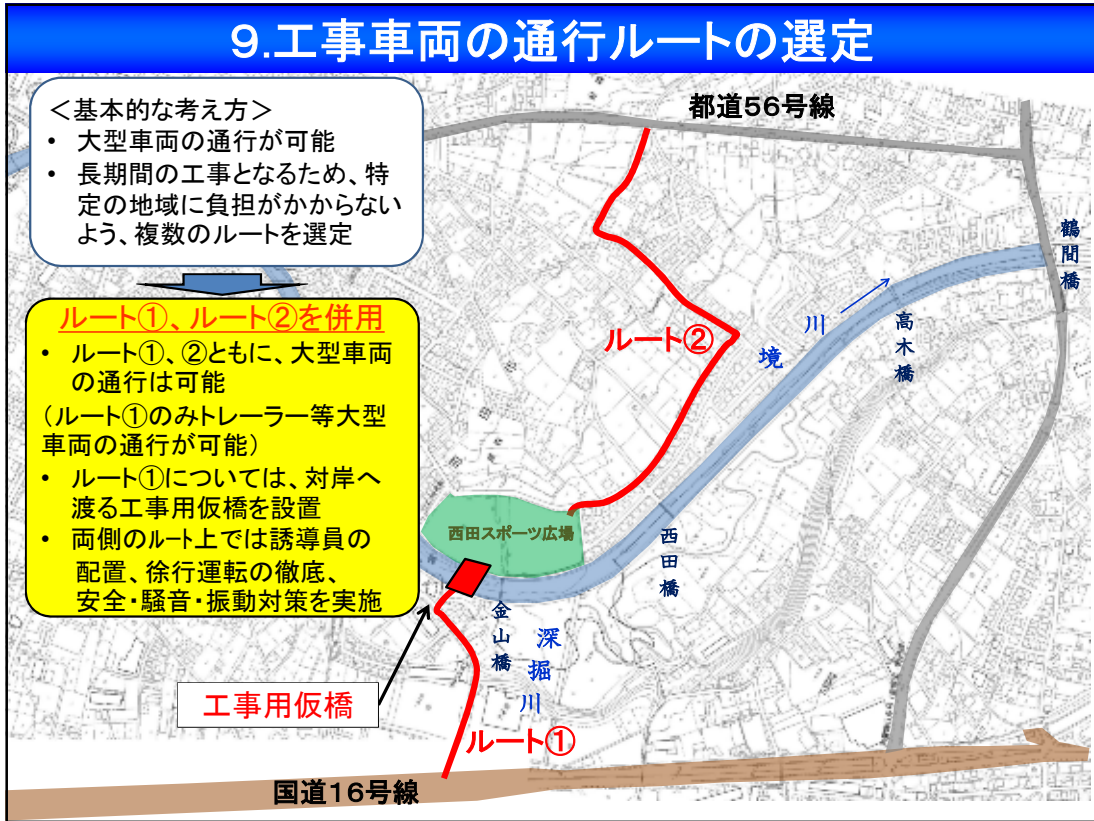
- 大型車両の通行が可能
- 長期間の工事となるため、特定の地域に負担がかからないよう、複数のルートを選定

ルート①、ルート②を併用

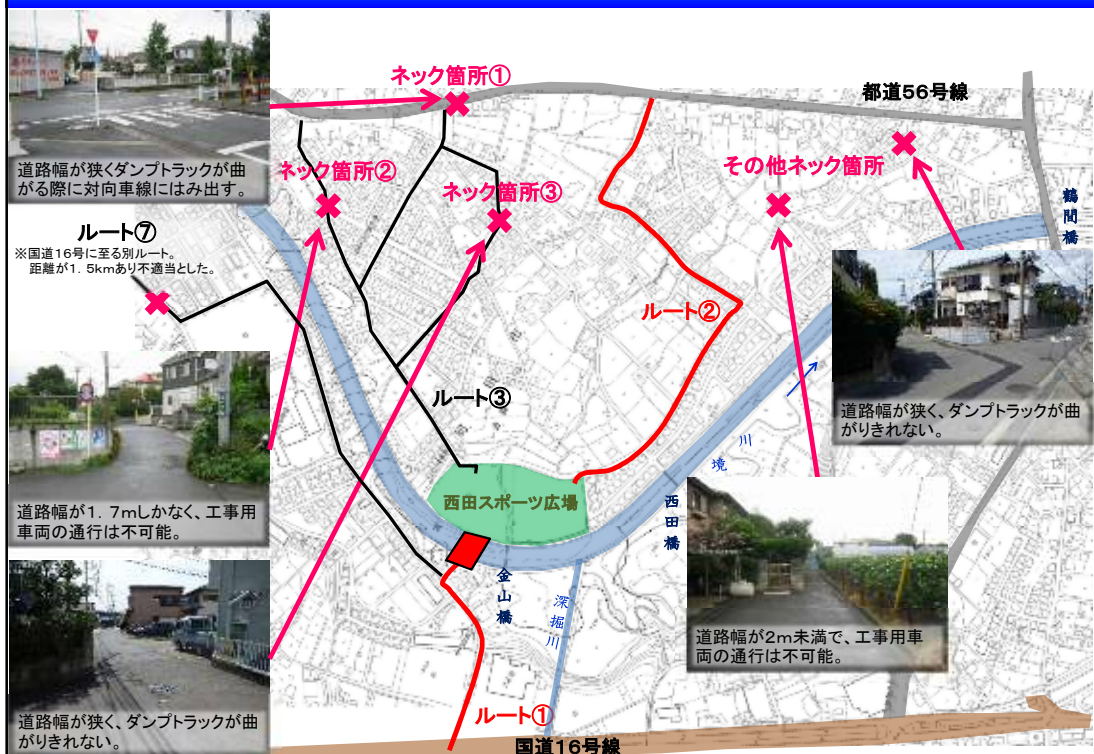
- ルート①、②ともに、大型車両の通行は可能
(ルート①のみトレーラー等大型車両の通行が可能)
- ルート①については、対岸へ渡る工事用仮橋を設置
- 両側のルート上では誘導員の配置、徐行運転の徹底、安全・騒音・振動対策を実施

工事用仮橋

国道16号線



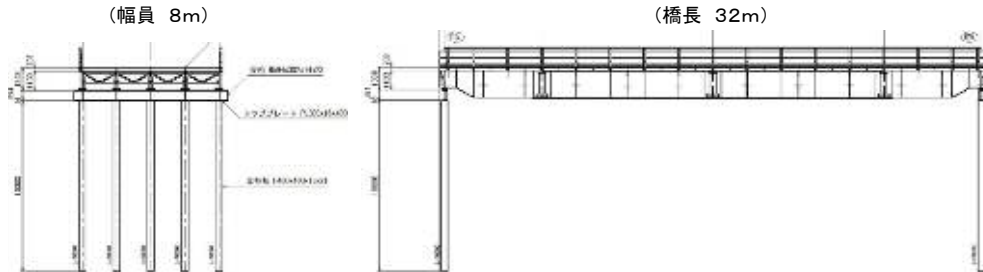
10.工事車両の通行ルートの検討



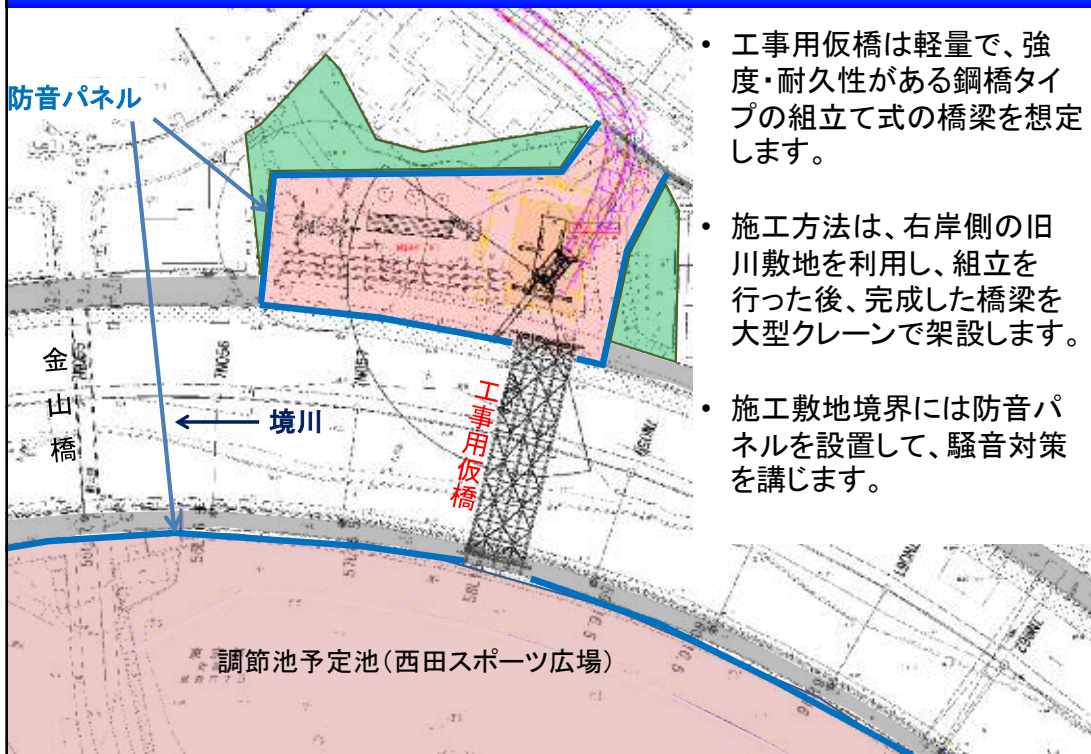
11.工専用仮橋について

西田スポーツ広場から対岸の広場(旧河川敷)の間に仮橋を設置します。

工事中も洪水に対する安全を確保する為、仮橋には中間柱設けない構造を想定しています。



12.工専用仮橋の設置について



13.工事实施上の各種対策について

工事を行うにあたっては、
地域の生活環境への影響を低減するように
主に以下の対策を行います。

【対策その1：騒音および振動対策】

【対策その2：安全対策】

【対策その3：粉じん対策】

【対策その4：歩行者・自転車通行対策】

14.【対策その1】騒音および振動対策

- ① 工事には、法や国の規程等に基づき低騒音・低振動型、排出ガス対策型建設機械を使用します。
- ② 騒音規制法等の順守はもとより、工事敷地境界には防音パネルを設置します。
- ③ 工事車両の通行にあたっては、法定速度を確実に守るとともに、さらに徐行運転に取組みます。

15.【対策その1】騒音および振動対策（建設機械）

- 工事には、**法や国の規程等に基づき低騒音・低振動型、排出ガス対策型**建設機械を使用します。

（使用機械イメージ）



16.【対策その1】騒音および振動対策（工事敷地境界）

騒音規制法の順守はもとより、工事敷地境界に**防音パネル**を設置して騒音を極力抑えます。

（環境基本法の基準値を目標）

騒音規制法の基準値（建設作業）
⇒80～85db（作業により異なる）

環境基本法の基準値（建設作業以外）
⇒55～65db（地域により異なる）



17.【対策その1】騒音および振動対策(車両通行)

- 工事車両の通行にあたっては、**法定速度を確実に守るとともに、さらに徐行運転に取り組めます。**

ダンプ等の工事用車両は、速度を落とすことで騒音・振動レベルが低減することを文献で確認しています。

出典: 第28回 土木学会関東支部新潟会研究調査発表会

- 工事用車両の通行ルート^①の道路補修については、道路管理者である市と協議し、対策を図っていきます。

18.【対策その2】安全対策

- ① **工事現場の出入口や工事現場周辺の見通しの悪いカーブ、都道・国道の出入口に交通誘導員を配置して、歩行者・自転車等の安全を確保します。**
- ② 待機場所の確保や、無線機による誘導などにより**工事車両の運行台数を管理して、通行ルートでの渋滞や駐停車がないようにします。**
- ③ 土砂、資機材の搬出入にあたっては、**大型車両の相互通行を抑制**します。

19.【対策その2】安全対策

- ④ 近隣の学校等の登校・登園や朝の通勤時間に配慮して、大型車両の現場出入り開始時間を朝9時からに設定いたします。
- ⑤ 工事受注者による定期的な安全研修・訓練を実施し、安全への意識向上、安全管理を徹底します。
- ⑥ 工事現場からの情報提供のほか、地域の皆様のご相談・ご要望等をお伺いする場として、工事連絡協議会（仮称）の設置等を検討しています。

20.【対策その2】安全対策（交通誘導員の配置）

- ・ 工事現場の出入口や工事現場周辺の見通しの悪いカーブ、都道・国道出入口に交通誘導員を配置して、歩行者・自転車等の安全を確保します。



交通誘導員配置イメージ

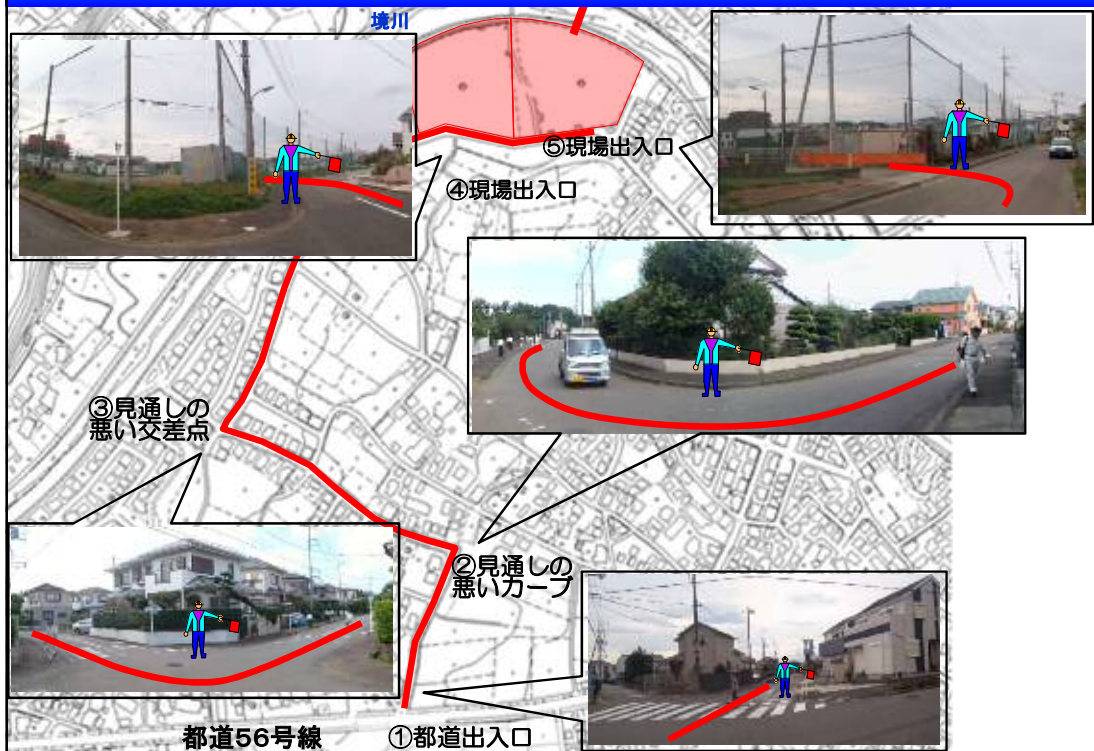


見通しの悪いカーブ

21.【対策その2】安全対策(交通誘導員の配置)



22. 交通誘導員の配置予定箇所(町田市側)



23.交通誘導員の配置予定箇所(相模原市側)



24.【対策その3】粉じん対策

- ① 工事車両が工事現場を出る際には、**車両洗浄**を行い、**粉じんを除去し**、**荷台はシートで被い**ます。
- ② 工事現場内での**散水**を行う等、**周辺への粉じんの飛散を防止**します。



工事現場内での車両洗浄 イメージ



荷台シート イメージ

25.【対策その4】歩行者・自転車対策

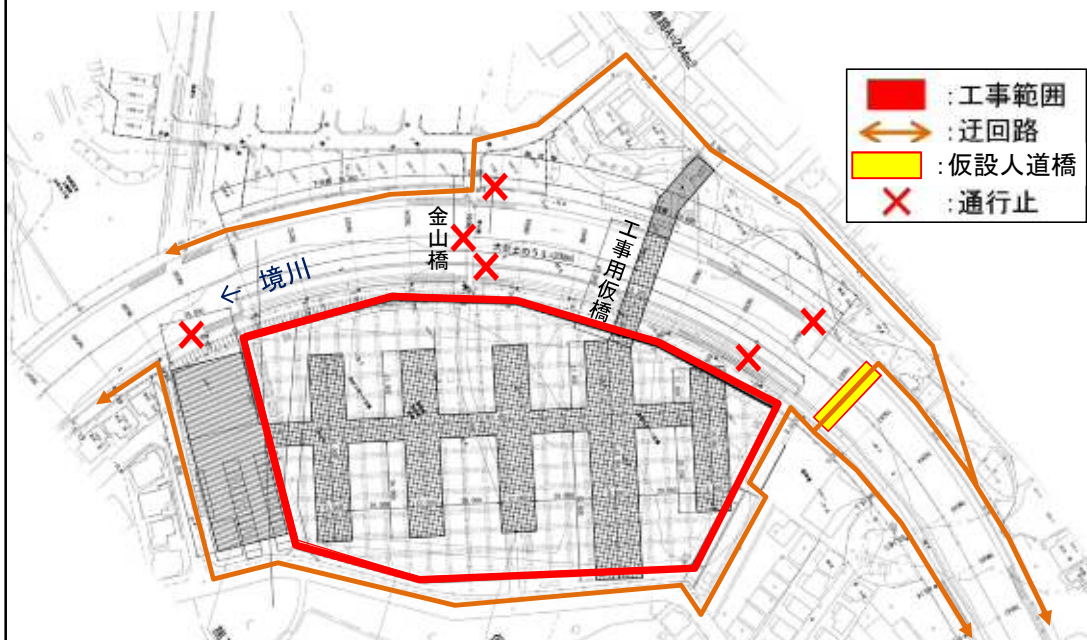
① 通行止めとなる金山橋および河川管理用通路（川沿いのサイクリングロード）の代替として、近くに仮設の人道橋と迂回路を設置いたします。

② 現在、金山橋付近にあるトイレについては、町田市と調整の上、代替のトイレを設置します。



26.【対策その4】歩行者・自転車対策（代替ルート）

- 工事期間中は金山橋と河川管理用通路（サイクリングロード）が通行止めになる時期があるため、迂回路を設定します。



27.【対策その4】歩行者・自転車対策(仮設人道橋)

- 仮設人道橋を設置します。
- 洪水時の安全性を考え、柱を設けない構造とします。

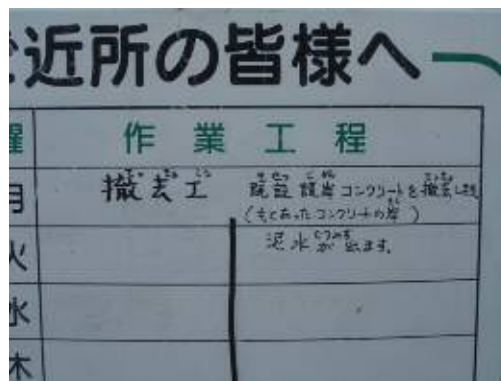
写真)設置イメージ



28.作業時間と作業工程について

作業時間は、9:00~17:00の8時間(うち、1時間休憩)を想定しています。

作業工程は工事連絡協議会(仮称)などを通じてお知らせすると共に、日々の作業内容は看板等を設置し、皆様にわかるようにいたします。



お知らせ看板の設置例

29.工事着手までのスケジュール(予定を含む)

平成26年度

- ・基本設計、地質調査
- ・町会役員、スポーツ利用者団体代表者への事前説明会

平成27年度

- ・第一回事業説明会(H27.9.8/9.18)
- ・詳細設計(~平成28年度)

平成28年度

- ・**第二回事業説明会(本日)**
- ・工事説明会 ➡ 準備工事着手(秋以降を予定)

平成29年度

- ・工事説明会 ➡ 本体工事着手